

# 2016年度(2017年3月期) 第2四半期決算説明会



2016年10月31日

大正製薬ホールディングス株式会社

取締役 上原 健



# 2016年度第2四半期決算：概要

(億円)

	2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	前年同期比 増減		予想比*
売上高	1,460	1,410	-50	- 3.4%	+10
セルフメディケーション	921	905	-16	- 1.8%	-10
医薬	539	506	-33	- 6.2%	+21
営業利益	139	167	+27	+19.6%	+37
経常利益	177	191	+14	+8.2%	+36
親会社株主に帰属する 四半期純利益	113	135	+22	+19.7%	+35

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

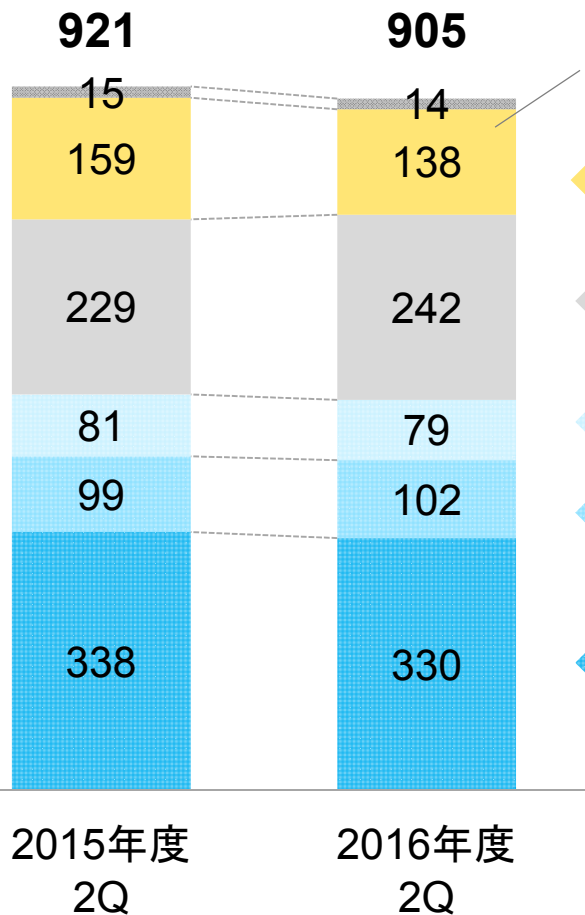
\*2016年8月1日時点の予想との比較



# 2016年度第2四半期の概況：SM事業

SM事業売上高 (億円)

内訳(前年同期比増減)



その他 (-1億円)

海外ドリンク・OTC等

国内その他

リアップシリーズ

パブロンシリーズ

リポビタンシリーズ

海外合計【138億円(-21億円、-13.4%)】

現地通貨ベースは計画通り  
為替がマイナスに影響

国内合計【753億円(+6億円、+0.8%)】

通販事業が順調に伸長

計画通り推移  
前年リニューアルの影響あり

鼻炎治療薬が好調  
総合感冒薬の消化も順調

市場トレンドを上回って推移  
も、ダウントrendは継続

注:金額は億円未満四捨五入  
増減は百万円単位で計算

<ご参考:市場の状況>

- 国内OTC医薬品市場:前年同期比(4~9月)-1.2%  
(インテージSDI・SRIデータをもとに当社推計、金額ベース)



# 2016年度第2四半期 主要ブランド売上高（SM国内）

（億円）

	2016年度 2Q累計	前年同期比 増減		予想比*
リポビタンシリーズ	330	-8	-2.3%	-5
パブロンシリーズ	102	+3	+3.1%	+3
リアップシリーズ	79	-2	-2.5%	+1
リビタシリーズ	19	+0	+0.2%	+1
胃腸薬シリーズ	18	-1	-3.4%	-1
ナロンシリーズ	17	-1	-5.8%	-1
ヴェックスシリーズ	15	+1	+6.4%	+1

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

\*2016年8月1日時点の予想との比較



# 2016年度第2四半期 SM海外：売上高

(億円)

	2016年度 2Q累計	前年同期比 増減		予想比*
SM海外	138	-21	-13.4%	-5
海外ドリンク剤	49	-5	-9.0%	+1
海外OTC医薬品	85	-15	-15.0%	-6
アジア	74	-11	-12.7%	-2
その他	11	-4	-27.4%	-4

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

\*2016年8月1日時点の予想との比較



# 2016年度第2四半期の概況：医薬事業

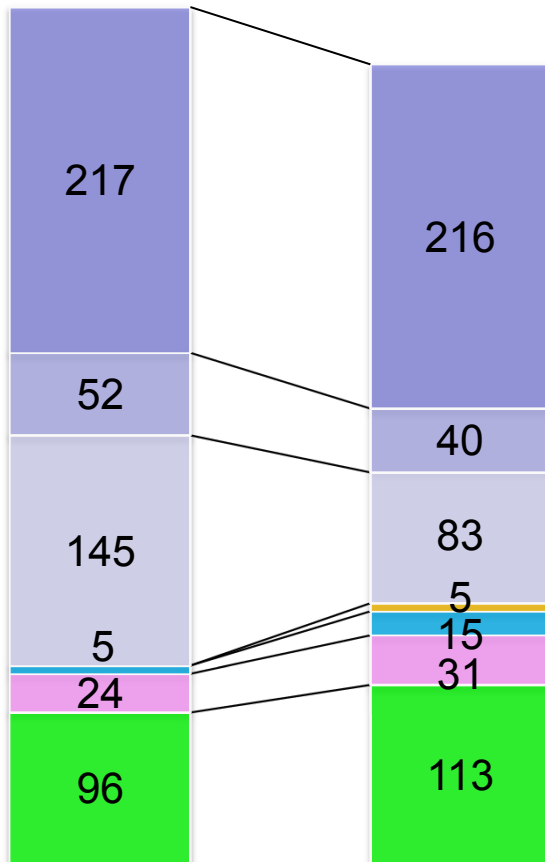
## 医薬事業売上高

(億円)

## 内訳

539

506



その他

クラリス

薬価改定、後発品の影響

ゾシン

薬価改定、後発品の影響

ロコア

計画通りの進捗

ルセフィ

市場拡大による処方医師増加

ボンビバ

静注薬としての良さが認知・浸透

エディロール

骨粗鬆症治療のベース薬として浸透

<ご参考：市場の状況>

医療用医薬品市場：前期比+0.1%

・抗菌薬市場-14.4% ・ビタミンD3市場+6.5%

・ビスホスホネート市場-3.0% ・SGLT2i市場+113.6%

(Copyright c 2016 QuintilesIMS., JPM2015年4月-2016年9月をもとに作成、無断転載禁止)

2015年度  
2Q

2016年度  
2Q



# 2016年度第2四半期

## 医薬事業：主要製品売上高

(億円)

	2016年度 2Q累計	前年同期比 増減		予想比*
エディロール	113	+16	+17.1%	+2
ゾシン	83	-63	-43.1%	-0
クラリス	40	-12	-22.2%	+0
ボンビバ	31	+7	+30.1%	-0
パルクス	28	-5	-14.1%	+2
ジェニナック	27	+16	+137.2%	+0
ルセフィ	15	+10	+177.6%	+5
ロコア	5	+5	-	+0

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

\*2016年8月1日時点の予想との比較



# 2016年度第2四半期： 売上高・利益の増減要因

(前年同期比増減額)

売上高 (-50億円)	セルフメディケーション事業 (-16億円)	医薬事業 (-33億円)
営業利益 (+27億円)	売上総利益* +12億円 (売上総利益率* 前年同期61.0% → 当期64.1%)	
	販管費 -15億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	-0億円
	・広告宣伝費	-4億円
	・販売促進費	-9億円
	・人件費	-2億円
・その他	+0億円	

\*返品調整引当金繰入・戻入調整後

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

※ 営業外損益：持分法投資損益 -6億円





# 2016年度：通期業績予想

(億円)

	2016年度 通期(予)	前期比増減	
売上高	2,850	-51	-1.8%
セルフメディケーション	1,854	+47	+2.6%
医薬	996	-98	-9.0%
営業利益	295	+6	+2.2%
経常利益	365	-3	-0.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	240	+15	+6.8%
1株当たり当期純利益(円)	300.37	-	-

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



# 2016年度予想

## SM国内：主要ブランド売上高

(億円)

	2016年度 通期(予)	前期比増減	
リポビタンシリーズ	604	-1	-0.2%
パブロンシリーズ	255	+7	+2.9%
リアップシリーズ	169	+3	+1.9%
リビタシリーズ	40	+1	+2.9%
胃腸薬シリーズ	41	+0	+0.3%
ナロンシリーズ	36	-1	-2.3%
ヴィックスシリーズ	37	+1	+3.2%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



# 2016年度予想 SM海外：売上高

(億円)

	2016年度 通期(予)	前期比増減	
SM海外	290	-9	-2.9%
海外ドリンク剤	97	-6	-6.1%
海外OTC医薬品	185	+1	+0.6%
アジア	157	+0	+0.0%
その他	29	+1	+3.6%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



# 2016年度予想

## 医薬事業：主要製品売上高

(億円)

	2016年度 通期(予)	前期比増減	
エディロール	224	+26	+12.9%
ゾシン	154	-119	-43.6%
クラリス	98	-22	-18.3%
ボンビバ	66	+17	+34.0%
パルクス	51	-11	-17.8%
ジェニナック	50	+7	+16.6%
ルセフィ	26	+17	+194.5%
ロコア	18	+14	+312.8%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



# 2016年度予想：売上高・利益の増減要因

(前期比増減額)

売上高 (-51億円)	セルフメディケーション事業 (+47億円)	医薬事業 (-98億円)
営業利益 (+6億円)	売上総利益* +47億円 (売上総利益率* 前期60.9% → 当期63.7%)	
	販管費 +41億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	+16億円
	・広告宣伝費	+21億円
	・販売促進費	-10億円
	・人件費	+7億円
・その他	+6億円	

\* 返品調整引当金繰入・戻入調整後  
金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

※ 営業外損益:持分法投資損益 -5億円(前期比-9億円)



# 医療用医薬品：開発品の状況

大正製薬開発品：

2016年度第1四半期決算発表時(2016年8月1日)からの変更点

(2016年10月31日現在)

国内:TS-133(外用)	
適応症	脱毛症
変更点	パイプライン(フェーズ2)に追加



# 医療用医薬品：新薬パイプライン(1)

## 大正製薬開発品：フェーズ2以降

(2016年10月31日現在)

	<u>特長他</u> 予定適応症	開発形態	国内／海外
フェーズ2			
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	国内
TS-152* (注射)	<u>抗TNF<math>\alpha</math>抗体</u> 関節リウマチ	自社	国内
TS-141 (経口)	小児 注意欠如・多動性障害(AD/HD)	自社	国内
TS-133 (外用)	脱毛症	自社	国内

\*TS-152: 一般名: Ozoralizumab



# 医療用医薬品：新薬パイプライン(2)

## 大正製薬開発品：フェーズ1

(2016年10月31日現在)

	対象疾患	自社／導入	国内／海外
フェーズ1			
TS-071* (経口)	2型糖尿病	自社	海外
TS-121 (経口)	うつ病	自社	海外
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	海外
TS-134 (経口)	統合失調症	自社	海外

\*TS-071：一般名：ルセオグリフロジン水和物、国内販売名：ルセフィ





# 株主還元について

- 2016年度配当(予想)

1株当たり110円(配当性向:36.6%\*)

中間配当:50円/株を2016年12月に実施予定  
期末配当(予想):60円/株

- 配当、自社株買いの方針は変更なし

- 配当性向30%(特別損益を除く)を目途、  
持続的な安定配当の実施を目指す

- 特段の事情がない限り、1株当たり100円の年間配当を  
維持する

\*配当性向は、特別損益を除いた当該期純利益により算出